

竹島・硫黄島・黒島（鹿児島県三島村）

三島村は薩摩半島南端の長崎鼻から南南西約40kmの位置にある**竹島・硫黄島**、坊ノ岬から南西約50kmの位置にある**黒島**の三島及び無人の新硫黄島や数個の岩礁から成り立っており、九州南端から南西にのびる南西諸島の最北部に位置しております。

竹島と硫黄島及び周辺の岩礁は中新期琉球火山脈に属する大型カルデラで、6,300年前に大噴火した鬼界カルデラの北西縁にあたる陸上部分をなしており、**黒島**は宇治群島や草垣群島などと共に旧期琉球火山岩帯に属しております。



みしまジャンベスクール

平成6年に初めてジャンベと三島村が会ってから10年余り、三島村の新しい伝統としてジャンベに取り組み続けてきました。みしまの子供たちとジャンベの達人「ママディ・ケイタ」氏との全国ツアーに始まり、子供たちのギニア訪問、ドイツ公演など様々な活動を経てきましたが、平成16年5月、アジアで初めてジャンベとアフリカの伝統を学ぶ学校「**みしまジャンベスクール**」設立という形で、ひとつの大きな節目を迎えることができました。

三島村硫黄島に開校したジャンベスクールは、平成16年8月開校記念式典を開催し、ジャンベと三島村を繋いだママディ氏はもちろん、設立に尽力いただいた各関係機関の来賓の方々、さらに在日ギニア大使を迎え、盛大に行われました。

〇 活動内容

① 島民による活動

これまで、島の公民館や小学校音楽室を借用して行われていた、住民のためのジャンベ教室や子供たちのジャンベ教室が、毎週定期的に活動できるようになり、島ぐるみの活動がより活発になりました。現在、硫黄島では120名の島民のうち大人20名小中学生18名が熱心に取り組んでいます。また、他の2つの島、黒島、竹島へは、スクールの講師が毎月指導に出向いています。

② 体験ジャンベ

スクールでは、まったくジャンベの経験のない観光客にもジャンベに親んでもらうため、1回2時間程度の体験コースも準備しています。また4月から5月は鹿児島市と提携し、各学校主催でキャンプに訪れる小中学生にも体験ジャンベプログラムを提供しています。



ジャンベスクール外観



開校式典の様子

③ 夏期集中講座インターナショナルワークショップ

ジャンベ経験者を対象に開かれる滞在型講座です。

本年度2回目となるこの夏季講座は、ママディ氏をはじめとする達人と呼ばれる講師を招き、開催されます。日本をはじめ、海外からのジャンベプレーヤーも参加しています。

アジアに一つしかないスクールだけに、韓国・台湾・中国・香港などのプレーヤーから注目されている大きなイベントでもあります。

現在は1週間程度の講座ですが、受け入れ体制が整えば、1ヶ月程度の長期滞在型講座に発展させたいと考えています。

④ 留学生制度

村独自の事業で、半年間硫黄島に住んでもらいジャンベのテクニックを学ぶもので、平成17年10月に第1期生が卒業しました。ジャンベ以外にも、みしまの伝統に触れてもらいより三島村を深く理解してもらうことを目的としています。また、留学生は、島内で生計を立てるため、様々な職種にも従事しました。20代から30代の若者4名が参加しましたが、高齢化した島内では重要な働き手となりました。



夏期集中講座の様子

⑤ 年間講座

本来ならば三島村にある、本スクールで毎週講座を開催したいのですが、定期船が1日1便であり、1泊2日の宿泊費・交通費など受講生に大きな負担がかかるため、広く公募した受講生が毎週訪れることは不可能です。

そのため、多くの方にジャンベを知ってもらい、みしまを訪れてもらうため、鹿児島市内にて、年間講座を開催しています。

開催初年度の平成16年は40名の受講生が参加しました。本年は60名の受講生が参加しています。受講生は、毎月1回週末を利用して行われる集中講座に参加し、三島村のスクールを訪れています。



年間講座の様子

三島村ホームページ <http://www.mishimamura.jp/>



竹島



硫黄島



黒島